

バイナリー発電による排熱利用技術の基礎と最新動向

～排熱回収技術の全容からバイナリー発電の経済性と導入手順まで詳解！！～

【LIVE配信】

◆日時：2021年01月29日（金）13:00～16:30

◆会場：自宅や職場など世界中どこでも受講可

◆聴講料：1名につき46,200円（税込、資料付）

※会員登録（無料）をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

・1名でお申し込みされた場合、1名につき**38,500円（税込）**

・2名同時でお申し込みされた場合、**2人目は無料（2名で46,200円（税込））**

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

●講師：森豊技術士事務所 代表・博士(工学) 森 豊 氏

産業界等の中低温排熱には種々の利用方法がある。その中で、排熱の熱エネルギーを利用して発電を行う方法の一つとしてバイナリー発電があるが、必ずしもどのような排熱や環境条件にも適している訳ではなく適不適がある。また、バイナリー発電は、水蒸気を使用した蒸気ランキンサイクル発電と比較して、作動流体が代替フロン系や炭化水素系など種々あり、それぞれ特徴がある。さらにタービンや熱交換器等の主要構成機器も異なるため、それぞれどのように選定すべきか判断に迷うところがある。

本セミナーでは国内の各種産業分野における排熱の状況から、排熱回収技術の中におけるバイナリー発電の位置付け、そしてバイナリー発電技術の基本と技術の詳細、国内外の実施例、及び導入に必要な関連法規や導入手順についてを分かりやすく解説する。バイナリー発電の基礎を学びたい方々から、導入を検討し技術の詳細を知りたい方々まで、広く役立つ内容を網羅する。

1. 国内のエネルギー事情

2. 国内の各種産業分野における排熱の現状

3. 排熱利用技術の種類と特徴

4. バイナリー発電とは

5. バイナリー発電の原理と特徴（強みと弱み）

6. バイナリー発電の作動流体（各適用領域）

7. バイナリー発電の

各用途(地熱、産業排熱等)における実施例と動向

7.1 国内の実施例 7.2 海外の実施例

8. バイナリー発電の構成機器、要素技術

9. バイナリー発電の経済性

10. 導入にあたっての検討事項

10.1 関連法規 10.2 計画方法、導入手順

11. 今後の展望と課題

【LIVE配信セミナーとは？】

・本セミナーは「Zoom」を使ったライブ配信セミナーとなります。「ミーティング用Zoomクライアント」をダウンロードするか、Web ブラウザから参加するかの2種類がございます。

・ZOOM WEBセミナーのはじめかた (<http://www.rdsc.co.jp/files/instruction/zoom.pdf>) をご覧ください。

・お申込み後、受理のご連絡メールをさせていただきます。一部メールが通常セミナー形式（受講券、請求書、会場の地図）になっておりますが、LIVE配信のみのセミナーです。

・お申込み後、接続テスト用のURL (<https://zoom.us/test>) から「ミーティングテストに参加」を押していただき動作確認をお願いします。

・後日、別途視聴用のURLをメールにてご連絡申し上げます。セミナー開催日時の10分前に、視聴サイトにログインしていただき、ご視聴ください。

・セミナー資料は郵送にて前日までには、お送りいたします。タブレットやスマートフォンでも視聴できます。

・ご質問については、オープンにできるご質問をチャットにご記入ください。個別相談（他社に知られたくない）のご質問は後日メールにて講師と直接お願いします。

『バイナリー発電【WEBセミナー】』セミナー申込書

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録（無料） ※案内方法を選択してください。複数選択可。

Eメール 郵送

● セミナーの受講申込みについて ●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたします。受講用URLは後日お送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>